

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第6期第5回相模原市中央区区民会議			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802 (直通)			
開催日時	令和4年5月25日(水) 10時00分～11時10分			
開催場所	けやき会館2階 職員研修所大研修室			
出席者	委員	23人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	15人(中央区長、中央区副区長、他13人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="margin-left: 20px;">1 情報提供 (1) 中央区みらい協働プロジェクト活動記録誌について</p> <p style="margin-left: 20px;">2 議題 第6期中央区区民会議重点行動の検討について</p> <p style="margin-left: 20px;">3 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

(◎会長の発言 ○委員の発言 ●事務局の発言)

## 開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

◎出席者は23名であり、会議の成立要件を満たしている旨、報告した。

—傍聴希望者 1名—

## 1 情報提供

(1) 中央区みらい協働プロジェクト活動記録誌について

参考資料1により、事務局から説明を行った。委員からの意見は特になし。

## 2 議題

第6期中央区区民会議重点行動の検討について、資料1～4により、事務局から説明を行った。委員からの意見は次のとおり。

(坂本委員)

○第7期において、すべてを実現することは難しいかもしれないが、1つでも、2つでも取り組みをして、実現すべきだと思う。

グループ1「子育て支援」について、「塾に通えない子どもに学習の場を提供する」というのは非常に大切なことだと思うが、「塾に通えない子ども」というのは2種類あって、①「経済的な問題」と②「勉強についていけない」というのがあると思う。①「経済的な問題」については、行政が補助金等で塾の費用を負担する仕組みを作れば効果的だと思うが予算がかかるので難しいのではないかと。②「勉強についていけない」については、今回の提案どおり学習の場を提供することが効果的だと思う。

グループ3「広報のあり方」について、広報さがみはらは何世帯に配布しているのか。また、どのくらいの予算がかかっているかを知りたい。

地元の自治会での新聞購読世帯は1～2割程度と聞いているため、広報さがみはらの配布も同様の数だと思う。少しでも広報さがみはらを配布するために、自治会で配布するなどを検討したほうがよいと思う。

(飯島会長)

◎坂本委員の意見については、第7期で重点行動を実現していくなかで、参考にしてほしい。また、必要があれば関連する行政の担当課や市民団体等から説明を受ける場を設けることも必要だと思う。そのなかで区民会議として働きかけをしていきたい。

(小林委員)

○広報さがみはらは、新聞を購読していなくても、市へ依頼をすれば宅配してもらえる。また、自治会の回覧で配布することも考えたが、25%が自治会の回覧を見ていないという統計もある。

(浦上委員)

○観光協会の立場から意見を言わせていただくと、相模原駅周辺の取組については、パブリックコメントなどで方向性は出ているが難しい課題が多いと思う。今後検討していくなかで、グループワークで出てきた以外の意見も多く出てくると思うので、区民会議の立ち位置を意識して、提言や働きかけをしていく必要があると思う。時間的な制約もあるため、優先順位を付けて、第6期を踏まえて第7期に取り組んでいただくことを期待している。

(斎藤委員)

○重点行動の文言について、グループ1「塾に通えない子どもに学習の場を提供する」は、先ほど意見があったとおり塾に通えない原因は複数あり、「塾に通えない」という文言はいろいろな解釈が出てきてしまう。なぜ塾に通わないといけないのかをはっきりさせる必要があると思う。

グループ3「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」で、「NPO法人」とあるが環境問題に取り組んでいる団体はNPO法人以外にもたくさんあるので、「NPO法人等」としたほうがよいと思う。

(飯島会長)

◎グループ3の「NPO法人」は「NPO法人等」に修正する。グループ1の「塾に通えない」については、グループワークでどのような意見があったのでしょうか。

(竹田副会長)

○グループ1の「塾に通えない」というのは、最初の意見出しで出てきた意見だが、グループワークをしていくなかでは、家庭では勉強せずに、学校や塾に行ったら勉強するという意見もあり、勉強をする環境を作ってあげれば勉強する子どもが増えるのではないかという意見があり、「学習の場を提供する」ということが重要であったと記憶している。

(斎藤委員)

○「塾に通えない」を除いて「子どもに学習の場を提供する」だけではどうでしょうか。

(飯島会長)

◎グループ1の「塾に通えない子どもに学習の場を提供する」は、「塾に通えない」を除いて「子どもに学習の場を提供する」とする。

(猿渡委員)

○グループ1の「子育て支援」について、子育ての相談窓口で学校を追加してもよいのではないかと。また、発達障害の当事者のことも考えて今後検討して行ってほしい。

広報のあり方について、バスのデジタルサイネージなどを利用して、できるだけ多くの人に情報を提供することが必要ではないか。

(飯島会長)

◎広報に限らずデジタル化が進んでいるが、デジタル以外の情報発信も自治体で考えてもらう必要があると思う。

(事務局)

●先ほどの坂本委員の質問について、市全体で約157,500世帯の約46.4%が新聞を購読しており、広報さがみはらを折り込みで配布している。また、広報さがみはらの印刷製本費は年間約3,100万円かかっている。

(坂本委員)

○中央区みらい協働プロジェクトにおいて、中央区ぶら散歩が4回あり、すべてに参加した。地域の特色を感じられ参考になるものが多かったのもので、また同様の事業を実施してほしい。た

だ、参加者を増やしていただくことが課題だと感じている。

(加賀谷委員)

○中央区区民アンケートの結果を見て、「回答できない」、「わからない」という回答が多かった。この結果から、区が何をしているかわからない、地域で何をしているかわからないという人が多いのではないかと思う。こういう人のために、広報や情報発信は重要だと思う。

重点行動を取組むにあたって、課題が挙げられていても、既にできている取り組みがわからないので、課題に対して他の地域などで取り組んでいることや成果などがあれば参考になるので教えてほしいと思う。

(飯島会長)

◎グループワークでの意見及び本日の意見を参考にして第6期のまとめを作成して、第7期へ繋げていきたいと思う。

(事務局)

●第6期第6回の会議を7月28日(木)に予定している。

(飯島会長)

◎第7期では、必要があれば関連する行政の担当課や市民団体等から説明を受ける場を設けたいと思う。

閉 会

竹田副会長あいさつの後、閉会。

第6期第5回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

No.	氏名	所属等	備考	出欠席
1	安藤 孝洋	小山地区まちづくり会議		出席
2	飯島 泰裕	学識経験者（青山学院大学）	会長	出席
3	飯塚 芳雄	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
4	牛尾 良一	中央地区まちづくり会議		出席
5	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		出席
6	大塚 悦子	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
7	加賀谷 育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
8	神田 隆吾	公益社団法人相模原青年会議所		出席
9	小林 充明	上溝地区まちづくり会議		出席
10	近藤 万莉	公募委員		欠席
11	斎藤 奈美	特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
12	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
13	猿渡 達明	公募委員		出席
14	清水 洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
15	志村 勝美	田名地区まちづくり会議		出席
16	末永 暁子	横山地区まちづくり会議		出席
17	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議	副会長	出席
18	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
19	田所 豊	相模原交通安全協会		出席
20	永富 多美子	相模原市公民館連絡協議会		出席
21	中村 太郎	相模原商工会議所		出席
22	原田 克也	一般社団法人相模原市医師会		出席
23	山口 信郎	大野北地区まちづくり会議		出席
24	割柏 秀規	光が丘地区まちづくり会議		出席